

『北東アジア地域研究』投稿規定および執筆要領

投稿規定

1 投稿資格

投稿者は以下の条件を満たす者とする。

- (1) 本学会の会員である者
- (2) 本学会の主催または共催で招聘した研究者で、学会委員の推薦があった者
- (3) 本学会委員と共同執筆をする者
- (4) その他編集委員会が投稿を認めた者

2 原稿の種類

2.1 研究論文・研究ノート

北東アジア地域研究に関連する論文であり、かつ実証的または理論的研究の成果として高度のオリジナリティと完成度を有するものであること。

修士課程在学中の会員にあっては、本学会が開催する学術研究大会もしくは地域研究会・サテライト研究会における報告と討議を経た論文であること。

2.2 書評

北東アジア地域研究に関連するもの、もしくは会員の著作についての書評

2.3 資料紹介等

北東アジア地域研究に関する資料の紹介、政策レビューなど研究論文に分類されないもので、研究論文に準ずる完成度を持つものであること。

3 査読

3.1 投稿された原稿は、審査のうえ掲載を決定する。審査は、研究論文については編集委員会の予備審査を経た後、編集委員会が依頼する 2 名の査読委員により審査を行う。その他の原稿は編集委員会において審査を行う。

ただし、第 1 項(2)の投稿については審査対象外とすることができる。

3.2 論文の審査項目は、Ⅰ. 内容について ①資料の信頼性 ②文献吟味の妥当性 ③分析方法の妥当性 ④研究の独創性 Ⅱ. 表現について ①用語・用法の適切性 ②図表の適切性 ③注記の適切性 ④文章表現の明晰性 である。

4 執筆要領

執筆要領その他、原稿投稿に関する詳細は別に定める「執筆要領」による。

5 投稿手続

論文およびその他の原稿は、毎年 11 月末日までに編集委員会 (henshu-j@anears.net)宛てに電子メールで送付する。

6 原稿の受理通知

編集委員会は原稿が投稿規定および執筆要領に違反していないことを確認し、受理通知メールを返信する。

7 受理後の取り扱い

- 7.1 原稿掲載の可否は、査読結果を踏まえて編集委員会が決定する。
- 7.2 査読結果は 1 月末までに投稿者に通知する。
- 7.3 編集委員会は、投稿者に原稿の修正を求めることができる。
- 7.4 修正原稿は、編集委員会において再度審査し、掲載の可否を決定する。
これ以後の修正は認めない。

8 校正

- 8.1 校正は、投稿者の責任において、原則として初校まで行う。
- 8.2 原稿の校正は、原則として誤植の修正に限る。校正段階での原稿の修正は原則として認めない。

9 著作権

本学会誌に掲載された著述の著作権は本学会に属する。
ただし著者が自身の論文等を、書籍等に転載することは妨げない。この場合、初出である本誌の掲載号とページを明記すること

10 二重投稿の禁止および研究者倫理規定の遵守

- 10.1 『北東アジア地域研究』は原著論文のための学術雑誌であり、二重投稿を認めない。
- 10.2 執筆者は論文の作成にあたり、日本学術振興会の研究者倫理規定を順守すること。
以下のサイトを参照してください。「科学の健全な発展のために—日本学術振興会」<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>

執筆要領

1 使用言語

日本語、中国語、韓国・朝鮮語、ロシア語のいずれかとする。

2 分量

論文：日本語、中国語、韓国・朝鮮語の場合は 20,000 字以内、ロシア語の場合は 7,000 語以内とする。研究論文には 200 語以内の英文サマリーと 5 つ以内のキーワードを添付しなければならない。英文タイトルとローマ字表記の氏名を明記する。

書評：7,000 字以内とする。

どの言語の研究論文・書評も本文は 10.5 ポイント（日本語の場合は MS 明朝のフォント）を使用し、原則として出来上がりが A4 版 15 頁以内に収まるようにする。

3 原稿の送付

3.1 原稿は、毎年 11 月末日（書評は 1 月末日）を締切とする。

投稿の最初の段階では、査読における投稿者の匿名性を守るために、本文中には投稿者を特定する表現は避ける。謝辞や研究資金等の明示などは、掲載決定後、印刷用原稿の提出の際に加筆する。

3.2 原稿の送付先

henshu-j@anears.net

3.3 原稿は Word の文書ファイルで電子メールに添付して送付する。

あわせて、氏名、所属、表題、原稿の種類（研究論文・研究ノート、書評、資料紹介等）、連絡先を明記した投稿票（形式自由）を提出する。

4 節、項のたてかた

1.

(1)

1)

2.

とする。適宜「はじめに」や「まとめ」などを前後につけても構わない。

5 図表について

(1) 図表番号について

図表は、図 1、表 1 という形でそれぞれの図表に一連の番号をつけ、半角を空けた後に図表のタイトルを明記する。図表は本文に入れる。

(2) 図表のカラー表示の禁止について

印刷は原則としてモノクロとなるため、図表類の凡例なのでのカラー表示は避けて、印刷時にわかりやすい表示にする。またグラフの背景も「白」とする。

なお学術上カラー印刷にすることに意義があると編集委員会が認めた場合は、カラー印刷にすることができる。ただし、その場合カラー印刷によって生じる新たな費用負担については投稿者の自己負担とする。

6 <注>について

注は、文末脚注とする。

脚注番号は、下記の要領でアラビア数字とする。

・・・雇用調整¹に関しては国際比較を含めてすでに多くの研究蓄積がある²。

単なる引用箇所のみ示す場合には、脚注とせず、文中に（権、2012、pp.171-2）、（Volkov, 2002, p.31）、（Martin, 2006b, p.132）などと記入のこと。複数の文献を同時に記載する場合は、（Volkov,2002,p.31; Martin, 2006b, pp.23-45）のようにセミコロンで区切る。

7 参考文献について

引用文献は、本文末尾に参考文献欄を設け、日本語文献は五十音順、その他の言語はアルファベット順に並べ、次のように記載する。

日本語文献の場合

書籍 著者名、発行年、『書名』、発行所名

論文 著者名、発行年、「論文名」『雑誌名』、巻号、pp— もしくは頁。

外国語文献の場合

書籍 著者名、発行年、書名（イタリック）、発行所名

論文 著者名、発行年、'論文名'、雑誌名（イタリック）、巻号、pp—.

中国語文献、韓国・朝鮮語文献は日本語文献に準ずること。

それ以外の文献は、日本語、外国語のどちらかに近いほうに準ずること。

8 その他の注意点

(1) 使用フォントについて

本文は、10.5 ポイント、日本語では MS 明朝

小見出し、図表タイトルは、MS ゴシック、10.5 ポイントを使用する。

(2) 英数字の表記について

2桁以上の数字（少数を含む）、英文部分は半角

(3) 記号類の表記について

句読点および「」『』（ ）<> [] %などの記号類は全角にする。

英文中の（ ）は半角のままにする。

(4) カタカナの表記について

カタカナは全角で表記し、半角文字は使用しない。

9 書評について

書評原稿に含まれる内容は、次のとおりである。

① 本の著者名

- ② 本のタイトル（副題も含めて『』で括る。）
- ③ 発行所名、発行年、 出版年（西暦）、総ページ数
- ④ 書評本文
- ⑤ 参考文献（必要に応じて）
- ⑥ 対象となる本の英文タイトル（投稿者が著者もしくは出版社に確認する。）
- ⑦ 書評者氏名および所属

書評の体裁は、研究論文に準拠すること。

10 資料紹介等について

資料紹介、政策レビューなどの体裁は、研究論文に準拠すること。

2016年10月8日和雑誌編集委員会決定